

2022年7月8日

関係各位

株式会社ツクイホールディングス
ugo 株式会社

**アバターロボット「ugo Pro」実証実験開始×遠隔操作に障がい者スタッフを登用
介護人材の不足という課題に2つの視点でアプローチ**

株式会社ツクイホールディングス（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 高島 毅、以下「当社」）は、ツクイグループが運営する介護付有料老人ホームで DX ロボットの開発を手掛ける ugo 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO 松井 健、以下「ugo」）のアバターロボット「ugo Pro」（以下「アバターロボット」）を試験導入。そして、当社特例子会社の株式会社 Grasol（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 小林 久美子、以下「グラソル」）の障がい者スタッフがアバターロボットを遠隔操作する実証実験を開始しました。



■ 実証実験の背景

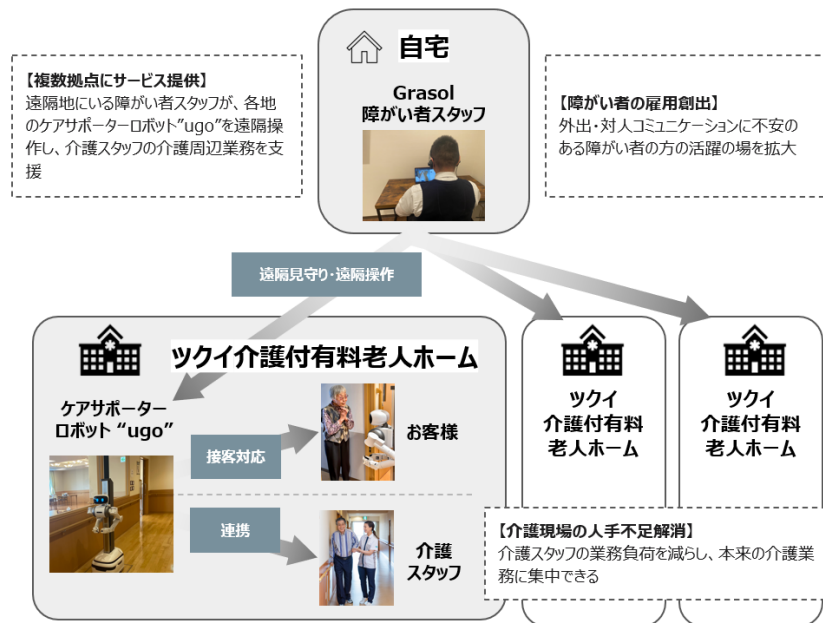
深刻な介護人材の不足を背景にツクイグループでは介護スタッフの仕事を、有資格者が行うべきものと、無資格者でもできるもので分解し、資格がなくてもできる業務をケアサポーターが担当する仕組み、「ケアサポーター制度」を導入してきました。

今回、ツクイグループが設立した、介護・福祉・医療領域に特化したファンド「ツクイ・ケアテック投資事業有限責任組合」で出資している ugo のアバターロボットがケアサポーターの業務の一部を担当し、人とロボットで介護周辺業務を分業し介護スタッフの業務負荷軽減を目指します。

また、アバターロボットの遠隔操作可能な仕組みを活用し、グラソルの障がい者スタッフが自宅にしながら遠隔接客対応を担当し働ける仕組みを構築します。障がい者スタッフの活躍の場の提供と共に、ツクイグループ全体の障がい者雇用率向上へ繋がります。

■ 実証実験の概要

- 実施時期 2022年7月～2023年3月まで段階的に実施
- 実施場所 介護付有料老人ホーム「ツクイ・サンシャイン横浜野毛」
- 取り組みイメージ



※「ケアサポーター」：介護業務のうち直接的な身体介助を行わない業務を担うツクイオリジナルの職種の名称

- アバターロボットの主な業務
 - 食事や入浴の時間に事前にルート設定した道のりを自動走行して居室前で声かけをし、エレベーターのボタン操作などをして、お客様を目的地へ誘導
 - お客様への声かけ・誘導を行った際に、アバターロボットに内蔵されているカメラを通して、遠隔操作しているスタッフがお客様の様子を確認

- 移動の途中で出会ったお客様にご挨拶や、愛らしい表情でお客様とコミュニケーション

□ **各社の役割**

株式会社ツクイホールディングス	・実証実験の取りまとめ
ugo 株式会社	・アバターロボットの提供
株式会社 Grasol	・遠隔スタッフとしての勤務
株式会社ツクイ	・実証実験の施設の提供 ・遠隔スタッフとのコミュニケーション

以 上

【本件のお問い合わせ先】

株式会社ツクイホールディングス

電話番号 045-842-4193 Email : press@apps.tsukui.net

担当 : コーポレートコミュニケーション部

ugo 株式会社

Email : pr@ugo.plus

担当 : 羽田・荒木